

ぶどう通信

第12号

平成13年9月20日

9月の中盤から一気に冷え込むようになり、長袖やジャケットを着る人も多くなりました。皆様は風邪などひかれていませんか？ 今年は7月の猛暑に始まり、どうなることやらと思っていたら8月は意外と過ごしやすく、心配された水不足は一発の台風で解消するという、なんとも結果オーライな夏でした。皆様にとってはこのような夏でしたか？

さて、これから秋に向けてと書いた矢先、本当にうれしいニュースが飛び込んできました。「ごとう通信」でも何度かご紹介した蒼樹山関（あおぎや



ま・時津風部屋・十両五枚目)が、九月場所において十二勝三敗の好成績で十両優勝を果たしました。場所中も何度か連絡を取っていた僕も興奮するほどうれしいニュースでした。

そこで今回は特別号として「蒼樹山優勝特番」にさせていただきます。

場所前の出来事

九月場所は十六日から始まりましたが、その一週間前、高田馬場に蒼樹山関が来てくれました。今考えると忙しい時期だったと思います。が、約束した高田馬場駅に時間通りに到着。タクシーを下りた関取を見た周りの人はちよつと引き気味。それもそのはず、182センチ、150キロの巨体はとにかく目立ちます。そこから僕たち夫婦といっしょに



K先生とお姉様と一緒にの蒼樹山

前関取にその話をしたところ、「今度行きますよ。」と言ってくれました。この日はそれを実現するために来てくれたのです。しかし、僕は先生にはそのことを内緒にしていました。

駅近くの先生のお宅まで三人で歩いて行きました。先生を驚かそうと思っていたのですが、呼び鈴を鳴らし、ドアを開けるとスリッパは三

患者さんのK先生（元中学教師）のお宅に向かいました。K先生は、蒼樹山の熱心なファンで、以